

ふれあい通信

2022/11/25 第13号（一社）熊本県労働者福祉協議会

日頃から県労福協の活動にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

2022 年もあとひと月あまりとなりました。2020 年 1 月に発生した新型コロナウイルス感染症もやがて 3 年が経過しようとしています。この間緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令等で社会活動も様々な制限が講じられ、多くの人々に多大な影響を与えてきました。困窮する学生等に食事の提供を行う方たちの映像、お客がいない飲食店の映像、嘆く従業員の声等々TVに出ない日は無かったように思います。

誰もが、このようなパンデミックが発生するとは想像もしていなかったと思います。いままでの日常生活が非日常となり、マスクを着用していない人が奇異に映る状況となりました。マスク着用を頑なに拒み、争いもおきました。また、隣国中国は、今でもゼロコロナ政策を遂行し異常なまでの行動制限を講じていますが、欧米では、今はほとんどの人がマスクの着用をしないで社会活動が行われているようです。

変異を繰り返す新型コロナウイルス、欧米で急拡大しているオミクロン型の派生型「BA.5」由来の派生型の「BQ.1」、「BQ1.1」、オミクロン型の派生型の「BF.7」が徐々に日本で発生しているようです。水際対策の緩和、行動制限の緩和で第 8 波への突入と言われており、ピークが1月中頃になるとのことです。

ウイルスの蔓延、地球温暖化で大規模災害の発生、そしてロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のロケット乱射など、不穏な空気も漂っています。次代を担う子どもたちに安息の場所を引き継ぐことが出来るのでしょうか。本当に心配な世の中になってきています。

さて、ふれあい通信も 1 年が経過しました。毎号青息吐息の中での作成ですが、各産別の方々がお忙しい中にも関わらず、寄稿依頼を快く引き受けていただいていること心から感謝しつつ頑張って継続できています。

今回のひと言コーナーは、電機連合熊本地方協議会 小材和博議長から多忙な中寄稿いただきました。熊本に TSMC、関連企業が進出し、熊本の半導体企業も半導体不足と相まって益々活況を呈する状況となってくるのではないのでしょうか。そこに働く組合員の方々の日々の研鑽も大変なものだと思います。

【1】ひと言コーナー

電機連合熊本地方協議会の小材です。

私たち電機連合は、電機・電子・情報関連産業およびその関連産業で働く仲間（県下 8 組合、約 3, 200 名）で組織しています。

「美しい地球・幸せな暮らし」を基本理念に掲げて取り組んでおり、労働条件や政策制度課題の改善、共済運動や社会貢献活動を通じて、地球環境の保全と一人ひとりの幸せな暮

らしの実現をめざしています。

また熊本地方協議会としては、Ⅰ．生活の質的向上をめざす運動、Ⅱ．生活環境の改善をめざす運動、Ⅲ．組織拡大と組織強化をめざす運動、Ⅳ．学習と交流を深める運動、Ⅴ．上部団体との連携をめざす運動、の5つの運動を柱として、活動を展開しています。

私たちを取り巻く環境は、超少子高齢化の進行と社会保障制度の持続懸念による将来不安の増加に加えて、世界情勢の深刻な状況やデジタル革命、依然終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症の影響など厳しく、大きな転換期を迎えています。

これまでの概念や価値観が一変し、経済や社会、そして私たちの暮らし方、働き方が大きく変わってきています。しかし、いかなる時代であっても人を中心に据えて、誰もが安心して活躍できる社会を築き上げていかななくてはなりません。

新たな時代に向けて、頼りにされる電機連合をめざして、強い使命感をもって役割と責任を果たしてまいります。



第28回定期大会(2022.9.10)にて「新役員体制」が承認されました。一致団結して頑張ろう！



第26回組合対抗ボウリング大会(2022.11.12)

【2】中央労福協活動コーナー

《継続でご案内いたします》

生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）について改めてお知らせいたします。身近なところで、コロナ禍で苦しむ方々を支援している団体等に是非ご紹介ください。

基金の目的

基金を呼び水として、地方労福協が軸となり労働組合・協同組合・市民団体等とともに、コロナ禍で苦しむ人たちに対する生活・就労支援活動を地域で促進することを後押しする。この取り組みを通じ、組合員・市民の共感を広げ、労働者福祉運動の役割発揮につなげる。

■就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などの事業への助成

熊本県労福協が対応できるもの以下の支援 B です。

・支援対象 B

その他、コロナ禍に対する生活や就労の支援を目的として、地方労福協が実施もしくは関与する事業や活動。

例えば、各地域で事業団体が行う学生生活支援・フードバンク事業・子ども食堂事業等との連携、民間団体・NPO等が行う困窮家庭等への支援活動との連携など。

- ・「関与する」とは、一緒に活動すること、事業・活動に共感し寄付を集めること、事業・活動を応援、推薦、紹介すること等を含む。
- ・コロナ禍対応に特化した事業・活動だけではなく、就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などを行うなかでコロナ禍対応を行っている事業・活動も対象となる。

・助成額

1 団体の助成上限額 **支援対象 B 20万円**

【3】南部労福協活動コーナー

1. 第 4 回南部ブロック幹事会

- (1) 日 時 2022 年 12 月 8 日(木) 14 時 30 分
- (2) 場 所 九州労働金庫宮崎県本部 3 階 第 3 会議室
- (3) 議 題

- ①2022 年度財政収支状況並びに 2023 年度財政立案について
- ②2023 年度定期総会の運営について
- ③ 2023 年度定期総会議案について
- ④その他

2. 2023 年度南部ブロック定期総会

- (1) 日 時 2023 年 2 月 17 日(金)
- (2) 場 所 鹿児島サンロイヤルテル

3. 南部ブロック会計監査(案)

2023 年度南部ブロック労福協事務局を熊本が担うことから会計監査に選考を要請されたことから以下の 2 名を選出し、2023 年度総会において承認されることとなる。

九州労金熊本県本部業務推進課長 上野 優(ゆう)氏

こくみん共済 coop 熊本推進本部事業推進部中央支所長

濱津 斉治(まさはる)氏

【4】県労福協活動コーナー

1. 連合熊本・県労福協合同研究集会

(1) 日 時 2022年12月7日(水) 13時30分～

(2) 場 所 ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

(3) 主 催 連合熊本・熊本県労福協

(4) テーマ 持続可能な社会の実現をめざして

(5) 参加要請数(昨年度と同数の要請)

- ・連合熊本 80名(80名)
- ・各地区労福協 20名(熊本地区労福協6名、その他各地区労福協各2名)
- ・事業体 30名(労働金庫20名、こくみん共済coop4名、ユニオントラベル熊本4名、秋津レークタウンクリニック1名、熊本県労働者福祉会館1名)

(6) スケジュール

13時30分～ 開会(事務局)

13時32分～ 主催者挨拶(友田連合熊本会長・県労福協理事長)

13時40分～ 事業体・ライフサポートセンター報告

報告・提起1 九州労働金庫熊本県本部(20分) 嶋田副本部長

報告・提起2 こくみん共済coop熊本県本部(20分) 吉村事務局長

報告・提起3 ユニオントラベル熊本(10分) 青木専務理事 猪股部長

報告・提起4 ライフサポートセンターくまもとの報告(10分) 徳富事務局長

質疑・応答(10分)

休憩(10分)

15時00分～講演

講師 増井太樹氏(公益財団法人 阿蘇グリーンストック 常務理事)

演題 阿蘇の草原から持続可能な未来を考える

16時20分～

<質疑・応答> 10分

16時30分～ 閉 会

増井太樹氏略歴 (公財)阿蘇グリーンストック 常務理事

鳥取大学大学院農学研究科を修了ののち、(株)ブレック研究所に入社、その後岐阜大学連合農学研究科(博士後期課程)、真庭市役所を経て2022年より現職。学生時代より一貫して日本の草原に関わり続け、半自然草原に関する研究を行うとともに、半自然草原をいかした地域づくりや蒜山自然再生協議会の立ち上げに従事。近著に、景観生態学(共立出版)、森林学の百科事典(丸善出版)(いずれも分担執筆)。博士(農学)、技術士(環境部門)

【出典：宙畑 SORABATAKE】

2. 2022 全国福祉強化キャンペーンの取組方針について

(1) 奨学金返済問題(奨学金返済 Q&A)について

2022年11月2日、県内教育機関に対して、中央労福協が作成した「もう悩まないで!奨学金返済 Q&A」ガイドブックを配付し、今まで実施してきた電話相談、給付型奨学金制度の制度化に向けた取り組み説明(300万筆の署名をいただき請願により制度化された事)、今後も給付型奨学金・無利子奨学金制度等の拡充を要請していくことの説明を行い、弊紙を奨学金返済相談に活用いただくため学生課等の窓口設置を依頼。

また、事業団体窓口に設置（九州労金、こくみん共済 coop、秋津レークタウンクリニック、県労館）

■設置要請を行った教育機関

尚絅大学・熊本学園大学・熊本大学・東海大学熊本キャンパス・熊本保健科学大学・九州看護福祉大学・九州ルーテル学院大学・崇城大学・平成音楽大学・中九州短期大学・熊本県立大学・熊本高専（熊本キャンパス・八代キャンパス）・熊本駅前リハビリテーション学院・九州中央リハビリテーション学院・熊本高等看護学校・熊本市医師会看護専門学校

（2）福祉事業団体 利用促進・共助拡大の取り組み

要請内容

- ・労働者自主福祉運動の取組強化並びに労働者自主福祉運動の担い手育成
- ・利用促進・共助拡大の活動・・・労働団体への要請

①日 時 2022 年 12 月 15 日（木）、19 日（月） 2日間 09 時 00 分～

②事業団体対応者 九州労金熊本県本部 峯潔本部長
こくみん共済 coop 園田海舟本部長
ユニオントラベル熊本 安本浩志理事長
県労福協 浦本

③要請産別 18 産別（他の産別には要請文を送付）（昨年 19 産別訪問 郵送 13 産別）

■九州労金との連携

しあわせ創造運動、「生活設計」「生活改善」「生活防衛」の 3 本の柱とした運動の共有を図り、今以上の信頼関係の醸成を図る。【多重債務者・奨学金返済困難者への対応】

■こくみん共済 coop との連携

- ・防災・減災運動の展開 「もしも」に備え、「もしも」を防ぎ、「もしも」に向き合う 助け合い、支え合い
- ・7 才の交通安全プロジェクトの取り組み（各産別への協力要請）

【5】雑学（トリビア）コーナー

■柿の名の由来 秋の味覚柿についてご存じですか

「柿（かき）」とは、カキノキ科カキノキ属の一種の落葉樹であるカキノキ（柿の木）のことであり、その果実も意味する。カキノキは、東アジアが原産とされ、中国や日本、韓国に多くの在来品種があり、特に中国の長江流域に自生している。

熟した果実は食用とされ、木の幹は家具の材料として用いられる。葉は茶の代わりとして加工され飲まれることもある。果実はタンニンを多く含み、未熟な果実から得られる柿渋（かきしぶ）は防腐剤として用いられる。

「柿」は、平安時代の書物にもある古い言葉であり、その由来については諸説ある。その中で有力とされるのは、江戸時代の植物学者・貝原益軒（かいばら えきけん、1630～1714 年）の著書『日本釈名（にほんしゃくみょう）』（1700 年）に記載のある「柿（カキ） あかき也 その実も葉も あかき故也」である。

つまり、「あかき」の「あ」が省略されて「かき」となるとされており、「赤い実や葉を付ける木」に由来するという説である。

その他にも「暁（あかつき）」が省略されたという説や、「輝き（かがやき）」に由来する説などもある。なお、原産である中国での漢名は「柿（し）」である。

「柿」を表す英語は「persimmon（パーシモン）」、学名は「Diospyros kaki（ディオスピロス・カキ）」。

18 世紀に日本からヨーロッパへ、19 世紀に北アメリカへ伝わったことから、学名にも和名と同じ「kaki（カキ）」の名前が使われている。

出典：雑学ネタ帳

【6】福祉事業団体の活動

以下の URL からご覧ください。

- (1) 九州労働金庫熊本県本部

<https://kyusyu-rokin.com>

- (2) こくみん共済 coop 熊本推進本部

<https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/kumamoto.html>

- (3) ユニオントラベル熊本

<http://unitora.com/>

- (4) 秋津レークタウンクリニック

<https://akitsu-laketown.jimdofree.com/>

- (5) ライフサポートセンターくまもと

<http://blog.rofuku.net/kumamoto-lsc/>

福祉のことなら何でもご相談ください。あなたの悩みに応えます。事業団体・産別の専門家が、労働問題他、福祉全般に亘って相談に応じます。

- (6) 熊本県労働者福祉会館

<http://www.roukan.org/>

いつでも、だれでも利用できる会議室があります。会議、研修、講習会などでのご利用お待ちしております。

【7】事務局からひと言

■外遊（外交）する首相 国内では様々な課題が山積 帰国したらしっかり「聞く力」と「素早い決断力」を遺憾なく発揮していただきたいと思います。

意味不明な発言を繰り返し、辞任するまで多くの時間を費やした前経済再生大臣、辞任したら、自民党のコロナ対策本部長に就任されました。このことすら、凡人の私には理解できません。そして、法の番人である前法務大臣の「朝、死刑のはんこを押し、昼のニュースのトップになる」「旧統一教会の問題で私の顔もいくらかテレビに出るようになった」「法務大臣になっても、お金は 集まらない、なかなか票も入らない」と発言したり、死刑という究極の刑罰を担う職責にある立場の方の言葉とは思えません。さらには、政治と金を主管する総務大臣。この方も自らに責任はないとしています。政治資金規正法に抵触していること

は明らかなのですが。このひと月に3人の大臣が辞職。首相の任命責任は……。しっかり国民が納得いくように丁寧に説明していただきたいと思います。

過去には、東日本大震災の被害について「まだ東北でよかった」そのような発言をした大臣もいます。失言・暴言即更迭は当然ですが、その前にそのような方々を選挙で選ぶということが問題ではないかと思います。また、野党では文教科学委員会で「新曲出しました。ディナーショーをします」と発言した議員もいます。「うそ」だろうと思いましたが……。なんか国会議員の質の低下を感じてるいるのは私だけでしょうか。選挙に勝って国会議員になりさえすれば、そして自分さえよければ……。嘘も通用する国会、そんな国会議員が国のかじ取りをしています。それでいいのでしょうか。悲しくなります。

■日本の「国の借金」が、国民1人あたり初めて1000万円を超えたとされています。国債や借入金などを合計したいわゆる「国の借金」が1255兆1932億円となり、過去最大を更新。（今現在もっと増えていると思います。）

1990年代の初めから日本では緊縮財政や消費税の増税の結果、日本は世界で突出した経済が成長しない国となり、国民の賃金は全く上がっていません。こんな中物価は高騰し、TVでは、家庭における節約術などが毎日のように報道されています。また、来年の春闘も経営者側が相応の賃金を上げなければという見解も示しているようですし、労働組合もしっかり対峙し労働組合の存在を遺憾なく発揮して大幅アップを勝ち取る。このことが労働組合に課せられた至上命題ではないでしょうか。

■医療や介護保険制度の見直しで、高齢者の負担増の議論が進んでいます。少子高齢化が進む中で現役世代の負担を抑え、制度を安定的に持続させるということですが、生活に直結する問題だけに悩ましいものです。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年を目途に議論が進められていくようです。（すでに、10月から一定の所得がある後期高齢者の医療費は1割負担から2割負担に引き上げられています。）

後期高齢者医療制度は、窓口負担を除く財源の9割が現役世代の保険料と公費で賄われています。高齢者の年間保険料の上限を現行の66万円から引き上げる案があり来年の通常国会に関連法改正案を提出するというスケジュールになっています。また、介護保険制度の見直しでは、所得が高い65歳以上の人が支払う保険料の増額や、サービス利用料を2～3割自己負担する人の対象拡大などが検討されており、こちらも年内に具体案をまとめ、2024年度の制度改正となるようです。

さらには、年金制度についても、国民年金保険料の納付期間を現行の40年から5年延長する案を協議しており、実現すれば20歳から始まる納付は「60歳到達時まで」から「65歳到達時まで」に延びることになります。

少子高齢化の中、全ての世代が安心できる社会保障制度づくりは、「次の世代に負担を先送りしないこと」が第1であり、所得に応じて負担するということも必要ですし、みんなで支え合っていくことが大事です。そのような社会保障制度が構築されるべきだと思います。官僚の皆さんが政治家に忖度することなくしっかり考えてもらいたいことです。

今後、人口は顕著に減少の一途を辿ります。人生100年と言われて久しいですが、健康寿命が100年ならいいのですが、社会保障費の増大は否めません。国の予算の枠組みから

見直すことが必要ではないでしょうか。私自身は、伸長する防衛費を抑制する必要があるのではとの思いがしますが……。当然未来永劫戦争を引き起こさない、そして加担しないということです。戦争のない世界であり平和であり続けることが……。そう願います。

※参考「現役世代（20～64 歳）何人で高齢者（65 歳以上）を支えるか」

1950 年には 12.1 人で 1 人の高齢者の負担を肩代わり 2015 年は 2.3 人で 1 人、
2065 年には 1.3 人で 1 人へと状況は急速に悪化（令和 2 年版高齢社会白書）

〈県労福協からのお知らせ〉

- 「借りてる方も これからかりる方も もう悩まないで奨学金返済 Q&A」
中央労福協が標記の冊子を発行しました。返済に困っているあなたへ法律のプロが寄り添って解説している冊子になっています。是非読んでみたいという方は、県労福協にご連絡ください。また、中央労福協 HP からダウンロードできます。サイトがわからない場合も、県労福協にご連絡ください。

いまこそ 労福協の力を

「持続可能な社会をめざして」「誰ひとり取り残さない社会をめざして」そのような
思いでふれあい通信を継続していくことができれば……

ご意見、ご要望をお聞かせください。

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会

〒862-0976

熊本県熊本市中央区九品寺 1 丁目 17-9

TEL 096-375-6029 FAX 096-375-6030

E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp